

令和7年度 第2回 山ノ内町総合計画審議会 議事録（要旨）

開催日・出席者等

開催日時 令和7年7月8日（火） 13時15分から14時05分まで
場 所 文化センター 3階ホール
出席者 下記のとおり
傍聴者 4人

協議状況（会議事項）

1 開会

本日は山ノ内町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき公開により行います。ご了承をお願いいたします。

2 あいさつ

3 審議会委員の委嘱について

新たに委員になられた、3名の方に委嘱状を配布。

4 会議事項

（1）第6次山ノ内町総合計画前期基本計画及び第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の報告について

委員の皆様方から、ご協力をいただきながら、策定に向け進めている、町後期基本計画ですが、令和7年12月議会への上程を目指し進めていく。後期基本計画に町民の意見等が反映できるよう、委員の皆様・各種団体・町が一緒になり計画を作りたいと考える。

策定に向けての取り組みについて、4月24日に開催した、第1回町総合計画審議会にて、「町審議会条例第2条」に基づき、副町長から町長名により、高木委員長に第6次町総合計画後期基本計画の策定について諮問されました。

当日は、後期基本計画策定方針について審議させていただき、「計画策定の趣旨」、「総合計画の概要」、「計画の構成」等について確認させていただきました。その中で、計画策定において意識する事項として、「人口減少への適応」、「人口減少スピードの緩和」を意識し、町民から「共感」、「満足度向上」に繋がる計画内容となることを目指し、後期基本計画策定において5つの重点ポイントを掲げさせていただきました。

1点目として、「人口減少・少子高齢化の緩和を目指す郷土」、2点目「脱炭素社会を目指す郷土」、3点目「若者・外国人から選ばれる郷土」、4点目「稼げるまち」、最後に「DXを推進する郷土」を意識した計画内容とし、住民サービスの根幹である「医療」、「福祉」、「介護」、「子育て」、「教育」の分野についても、より一層の施策の検討を行い、計画に反映させていきます。

現時点としては、前期基本計画の計画期間である、令和3年度から令和7年度の五年間について、施策の検証を行い、第1回合同専門部会にて、「施策の取り組み結果」、「今後の展開」について、担当係長を交えながら、意見交換を行っていただきます。

前期基本計画の検証が済んだ後は、「後期基本計画の素案作成」となり、今年度、「第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂時期であることから、後期基本計画の素案作成に併せ、総合戦略の作成も進めていき、今年度中に策定します。

総合計画は、「まちのづくりの方向性を示す計画」であり、行政の各種計画及び施策の展開方針など、まちづくりの方向性の目標を示すものであり、令和3年に策定しました、「第6次町総合計画基本構想」で掲げた、将来像である「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康なまち」の実現を目指すための行政運営の指針となります。

一方で、「総合戦略」は、「人口減少・少子高齢化対策」、「人口減少への適応」、「人口減少スピードの緩和」、「地方創生」を目的とする、より具体的な課題解決に焦点を当てた計画となります。

なお、「まち・ひと・しごと創生法第8条の規定により」、総合戦略の策定にあたり、人口の現状及び将来の見通しを踏まえるものとされていることから、「第3期町人口ビジョン」も今年度中に策定します。

資料1に基づき、説明。(資料1の1、7、10ページ差し替え)

基本計画のR6年度の全体の進捗状況は、指標数が全部で81個、そのうち◎と●の目標値を達成したものは23個、そこに○を加えて達成、順調あるいは概ね順調である割合は昨年度から前進して53.1%となった。今回は後期基本計画策定の年のため町民アンケートの結果を加味した考察を追加している。2ページ以降が各指標の状況であり、評価と今後の取り組み欄については指標が総合戦略と同じである場合参照先を示してある。8ページ以降に掲載してある総合戦略のKPIと同じ指標になりますのでそちらをご覧ください。基本計画第6章のイノベーション戦略プラン2.0が総合戦略に対応する形となるので、様式1には6章の指標は載せていない。

総合戦略は1-2の冊子のことであり、8ページから、4つの基本目標ごとに「数値目標」が、具体的な施策ごとに「KPI」が設定されている。3ページの「PDCAサイクルの確立と運用」の(2)効果検証と改定の項目で、総合計画審議会において適切に実行されているか進捗管理を行う、の記載に基づいて、これらの指標の進捗状況を本審議会に報告する。資料1-1に戻って、基本目標1の「延べ観光客数」は計画策定時点ではインバウンドは上昇傾向ではあるものの目標に達していない状況で▲、「新規就農者数」は上昇傾向であるがR6時点では▲、基本目標2の「社会移動」は、昨年度に引き続きプラスの数字となり◎、基本目標3の「合計特殊出生率」は厚生労働省から公表されたH30からR4間の数字が1.39で目標の1.62、基準値の1.44とともに下回り、基本目標4の「山ノ内町に住みたい人の割合」はR6年度に実施したまちづくりアンケートの結果から64.0%となり目標値の70.0%も基準値の64.8%も下回った。

総合戦略第5回改訂について、現在の第2期計画が本年度で終了することから、来年度以降の第3期の5か年計画を今年度の後半に策定予定であり、今回の改訂は、R7年度の間に変更する必要のあるものに限り改定するもので、来年度以降実施していくものは第3期の計画に盛り込む予定である。そのためKPIの改定は行わない。改訂箇所は19点あり資料1別紙をご覧ください。

(2) まちづくりアンケート結果・概要について

第6次町総合計画後期基本計画策定に伴い、町民の日常生活の状況や町に対する要望等を尋ね、前期基本計画の評価と後期基本計画を検討するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

調査概要としましては、「山ノ内町に在住する16歳以上（上は80代まで）の男女1,000人」、調査期間「令和7年3月1日（土）から3月31日（月）」の間で実施し、調査票の回収については、町統計調査員（調査協力者数97人）の協力をいただきました。また、今回、オンライン回答も設け、回収結果としては、「有効回収数 633 票」、「うち調査票回答 441 票」、「オンライン回答 192 票」、「有効回収率 63.3%」でありました。

回答者の属性としては、「男性 293 人」、「女性 324 人」、「回答しない 15 人」、「無回答 1 名」であります。

「まちづくりアンケート」を補完する目的で別に三種類の調査を実施しました。「町外からの勤務者アンケート」、こちらは、第1回町総合計画審議会にて委員より提案をいただき、町外から町内に勤務されている方を対象に、町商工会員約300団体へ調査依頼させていただき、104件の回答をいただきました。「子育てアプリを利用者アンケート」は、「はぐナビ☆やまのうちのb y母子モ」に登録されている、妊娠中・子育て中の方、約200人に調査依頼させていただき、5件の回答をいただきました。最後に「保育園保護者アンケート」は、保育園に通う園児の保護者約220人に調査依頼させていただき、136件の回答をいただいた。

アンケート結果の概要としては、自然環境や地域への愛着を評価する声が多く見られ、「住みやすい」・「まあ住みやすい」との回答が6割を超え、町の自然や温泉など地域資源に対する満足度は高い傾向にあります。

一方で、利便性やインフラ面への不満も浮き彫りになっており、特に「医療体制」、「公共交通」、「子どもの遊び場」、「就業の場」などに関しては、満足度が低く、改善を求める声が多く見られた。

「若年層」では、定住意識が比較的低く、「交通や買い物の利便性」、「古いしきたりへの違和感」、「就業機会の少なさ」など課題があり、「高齢層」では、定住意識が比較的高いものの、「交通や買い物の利便性」、「冬季間の生活や雪対策」などが課題。また、町政に対して、「情報が十分に届いていない」と感じる住民の多く、情報発信の方法や住民参加の仕組みの改善が求められます。町の将来像については、「自然環境に恵まれたまち」、「観光・レジャーの盛んなまち」とする意見が多く、観光資源の有効活用やインフラ整備への期待が伺えました。

今後のまちづくりにおいて優先すべき取り組みとしては、「子育て・教育支援の強化」として、「保育料や教育費の軽減」、「医療・交通など生活インフラの充実」として、「医療期間や公共交通に対する不満が多く」、特に「高齢者や交通弱者のための移動手段の充実」が求められています。「若者の定住・移住促進」としては、若年層では、町外への流出要望が多く、特に「就業機械の不足」や「娯楽の少なさ」が理由となっており、「空き家の有効活用」が進まず、「住宅不足と老朽化」の両面でも課題があります。「地域共生型のまちづくり」では、インバウンドを中止とした観光の重要性は高いものの、オーバーツーリズムや生活圏への影響を懸念する声がみられます。

アンケート結果からの「課題」・「今後の取り組み」については、後期基本計画にしっかりと反映していくことが重要であるため、関係各課と調整を行い、施策内容を検討していきます。

(3) 若者ミライ会議について

資料3に基づき、説明。

まちづくりアンケートを補完する目的でワークショップを開催し、第1回目は、「町で暮らす若者を対象」、第2回目は、「町で暮らす外国人を対象」に開催し、第3回目は、「第1回・第2回で出た意見内容を「総括」する形で」開催しました。

ワークショップの中で出た、「もっと良くしたいところ・課題」については、資料3-2 となりますが、「医療機関が少ない」、「子どもの遊べる環境の整備」、「空き家対策」、「公共交通の利便性向上」等の課題については、先ほどのアンケート調査結果と共通している部分が多くあります。

このワークショップで出た意見等についても、後期基本計画に反映できるよう、関係各課と調整を行い、施策内容を検討し、今後もいろいろな機会を通じて、町民ニーズに努めます。

※時間の関係上、質疑・意見・要望の時間が設けられなかったため、再度開催。

(4) その他 …樋口

第1回合同専門部会の開催方法等について説明

5 その他

特になし。

6 閉会

○出席者名簿（敬称略・順不同）

（委員）

町議会 総務産業常任委員長（代理）

町議会 社会常任文教常任委員会 高田 佳久

町議会 広報常任委員長 志鷹 慎吾

町区長会 会長 瀧澤 敏

町民生児童委員協議会 地区福祉部会長 佐藤 匡則

町農業委員会 会長代理 福井 敏彦

（一財）山ノ内町まちづくり観光局 事務局長 石井 正生

町商工会 女性部副部長 春原 厚子
JA ながの 地区筆頭理事 徳竹 栄一
北信州森林組合 理事 山口 剛
女将の会「ゆのか」 会長 竹節 みどり
志賀高原観光協会 会長 片桐 由香子
北志賀高原観光協会 会長 徳竹 栄子
町教育委員会 広育委員 野竹 重範
町金融団 長野信用金庫山ノ内町支店長 荒井 則喜
山ノ内町社会福祉協議会 事務局長 山口 辰也
町長推薦 高木 幸一郎
事務局 未来創造課長 堀米 貴秀
事務局 未来創造課地域創造係長 樋口 淳一
事務局 未来創造課地域創造係 三井 里美
事務局 未来創造課地域創造係 樋口 智章

以上